

第63号

平成29年9月1日

市議会だより

■ 6月定例会

6月14日～6月21日



発行・下田市議会 編集・議会だより編集委員会 〒415-8501 下田市東本郷1丁目5番18号 ☎0558(22)2220<直通>

8月16日 川勝県知事との意見交換



- 下田市過疎地域指定に伴う条例の制定
- 姉妹都市、沼田市議会来訪
- 伊豆縦貫自動車道建設促進大会への参加
- 産業厚生委員会協議会開催
(地域おこし協力隊、地域おこし企業人を囲んで)

6月定例会総括

下田市議会6月定例会（14日～21日）は、8日間の会期で開かれ13議案が上程され、その内3議案は報告議案で、1議案は即決議案で承認・可決されました。

委員会に付託された議案は9議案で、総務文教委員会と産業厚生委員会にて慎重な審査が行われ、報告を受けた本会議ですべて原案通り可決されました。

議案の中には、下田市が初めて過疎地域に指定されたことを受けて、過疎地域自立促進対策や半島振興対策による議案がありました。いずれも国の制度を使つて経済振興を図つていくものです。

一般質問は、6人の議員が14項目について質問を行いました。新庁舎建設に関する質問は平成24年12月定例会以降初めてありませんでした。「静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員」の選挙が行われました。

一般会計補正予算は、約4555万6千円の増額があり、

総合計額は約96億9959万5千円となりました。

総務文教 常任委員会

- 委員長 鈴木 敬
- 副委員長 進士為雄
- 委員 滝内久生 竹内清二
- 伊藤英雄 土屋 忍
- 森 温繁

6月定例会

条例関係

■議第35号 市有財産（建物）の譲与について

消防団第5分団の柿崎、外浦各詰所が統合新設されました。それに伴い、旧第5分団第1部（柿崎）詰所を柿崎区に譲与するものです。柿崎区では防災倉庫として利用されます。

■議第36号 下田市半島振興対策実施地域における固定資産税の特例に関する条例の制定について

半島振興法の趣旨に基づき、本市の経済活性化と雇用機会の創出を図るための条例制定

です。製造業・旅館業・情報サービス業等・農林水産物販売業の新規設備投資に対し、3年間不均一課税により固定資産税を段階的に減免するものです。

■議第37号 下田市過疎地域自立促進対策に伴う固定資産税の特例に関する条例の制定について

平成29年4月1日、下田市が過疎地域に指定されました。それに伴い、過疎地域自立促進特別措置法の趣旨に基づき、製造業・旅館業・農林水産物等販売業の新規設備投資に対する固定資産税を、3年間免除する（ゼロにする）ものです。

半島振興法、過疎法ともに地域経済活性化と人口減少対策のため、有効に活用していただきたいと考えます。

■議第38号 下田市総合福祉会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

高齢者生きがいプラザが、県の危機管理センター建設のため廃止されました。生きがいプラザの機能の一部を総合福祉会館に移すため、2階級養娯楽室等を改修することに

よる利用区分の変更に伴う条例改正です。

■議第40号 下田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について

消防団員の公務災害補償の基準を定める国の政令の一部改正により、扶養親族加算額及び加算対象区分を改正するものです。



一般会計補正予算

*統合政策課

■公共交通推進事業負担金 150万円

南伊豆・西伊豆地域公共交通活性化協議会負担金です。下田駅・修善寺駅での案内標示の整備をします。

■ふるさと応援基金積立金 1134万円

*総務課

■電算処理総務事業委託費 630万8千円

*防災安全課

■防災組織育成事業補助金 60万円

自治総合センターコミュニティ助成金により、上大沢地区自主防災会が発電機等を購入する資金です。

■消防団活動推進事業備品購入費 77万8千円

同じくコミュニティ助成金により、消防団員の防火衣12着分を購入するものです。

*福祉事務所

■ほのぼの福祉基金積立金 103万5千円

■子育て支援基金積立金 137万円

*学校教育課

■幼稚園管理事業 130万円

下田幼稚園の職員室と遊戯室の照明をLED化するものです。

*生涯学習課

■公民館管理運営事業 134万4千円

AED（自動体外式除細動

器)リース料(長期継続)

4万4千円

中央公民館空調機設置工事

130万円

■図書館管理運営事業

4万4千円

AED(自動体外式除細動器)リース料(長期継続)

市内各公共施設にAEDを配置する事業を進めています。



産業厚生 常任委員会

委員長 橋本智洋

副委員長 増田 清

委員 進士濱美 小泉孝敬

大川敏雄 沢登英信

6月定例会

条例関係

■議第39号 下田市国民健康

保険税条例の一部を改正する条例について

この条例は経済対策等によ

り賃金が上昇するもの、物価も併せて上昇することから、結果的に生活水準は同じでも保険料の軽減対象でなくなる

被保険者への国民健康保険税の軽減制度の拡充を行うものです。

■議第41号 平成28年度下田

水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

これは平成28年度下田市水道事業会計未処分利益剰余金、1億3711万9千404円について、資本金への組み入れ及び減災積立基金への積立

てを行うためのものです。

一般会計補正予算

*市民保健課

■保険基盤安定繰出金

*環境対策課

■簡易給水施設整備事業補助金

13万8千円

*産業振興課

■農業次世代人材投資資金

525万円

■有害獣対策事業補助金

190万円

■みどりの基金積立金

22万5千円

■あずさ山の家管理運営事業

98万3千円

これはボイラーの修繕費用です。

■吉佐美漁港小規模局部改良事業

580万円

*観光交流課

■観光まちづくり総務事務

13万3千円

主なものはインターネット接続費用と備品購入費用です。

■観光まちづくり推進事業

33万4千円

主なものは下田八幡神社例大祭に係る花火大会の補助金です。

■広域観光推進事業

17万円

赤坂にて開催されている「るるぶキッチンプロモーション」への負担金です。

「るるぶキッチンとは

るるぶキッチンとは

JTBグループの「るるぶ」

等、旅行関連情報の出版・販売、Web関連事業を手がける株式会社JTBパブリッシングが「赤坂バル横丁」内に、

出店した飲食店舗です。

『るるぶキッチン』は、編集者が全国各地を旅して見つけ

た、良い素材を活用した、ご当地連動型バルです。「日本ワインとご当地食材」をテーマに、各地へ旅をするきっかけ

や地域産品のファンとなるお店づくりをコンセプトにしています。日本各地から取り寄せた食材などを使ったレギュラーメニューのほかに、期間ごとに特集地域を定め、その土地の旬の食材を活かしたオリジナルメニューを提供するとともに、店内ではメニューブック、特設棚、映像などを活用して地域食材や観光プロモーションも同時展開しています。

下田市では静岡県「伊豆急電車が走る街」特集メニューの中で7月15日から28日の間、開国下田紅茶を使った豚肉のハリス紅茶煮、まるごと菜ちゃんトマトのガスパッチョ風、オリーブ煮のキンメ

缶詰を使った、下田キンメ西洋炊き込みご飯が提供されました。

■世界一の海づくり事業補助金

35万円

自然体験活動推進協議会への補助金です。

■世界一の海づくり基金積立

78万5千円

た、良い素材を活用した、ご当地連動型バルです。「日本ワインとご当地食材」をテーマに、各地へ旅をするきっかけや地域産品のファンとなるお店づくりをコンセプトにしています。日本各地から取り寄せた食材などを使ったレギュラーメニューのほかに、期間ごとに特集地域を定め、その土地の旬の食材を活かしたオリジナルメニューを提供するとともに、店内ではメニューブック、特設棚、映像などを活用して地域食材や観光プロモーションも同時展開しています。

*建設課

■都市計画マスタープラン推進事業

450万円

市道立野お吉ヶ淵線修景舗装工事費です。

■伊豆縦貫車道建設促進事業

49万7千円

主なものは職員手当、普通旅費等です。

■県営街路事業負担金事務

21万円

沿道整備土地区画整理事業計画策定業務に関する委託費です。

■景観まちづくり基金

66万5千円

景観まちづくり基金積立金です。

国民健康保険事業 特別会計補正予算

1207万2千円

この内、主に907万2千円は国民健康保険広域化対応業務委託に関するものです。



沼田市議会との交流

7月5日、6日と姉妹都市である沼田市の市議会議員12名と五十嵐副市長が下田に來られ親交を深めました。5日は市民文化会館の大会議室において、姉妹都市交流会が行われ、下田市議会からは11名の議員が出席しました。そして

- (1) 災害時等の相互応援に関する協定締結について
 - (2) 一般国道自動車専用道開通に伴う観光への影響について
 - (3) 特産品の消費拡大の方策について
- 以上の3項目について意見交換しました。



(1) 災害時等の相互応援に関する協定締結については沼田市、下田市間で平成7年11月22日に締結された「災害時の相互応援に関する協定」を再度確認して、沼田市、下田市各々の区市町との協定例を公表しました。

(2) 一般国道自動車専用道開通に伴う観光への影響については、旅行の選択肢が多様多様になった昨今、広告宣伝やPR、イメージ戦略が重要で、そのため地域おこし協力隊及び地

域おこし企業人の起用について、説明をしました。

観光への影響について、圏央道の開通による関東圏の観光客の増大傾向を報告し、伊豆縦貫自動車道の全面開通による更なる伊豆の観光推進への期待について、そして、世界一の海づくりプロジェクト、30カラーズによる観光戦略についての概略を発表しました。

(3) 特産品の消費拡大の方策については、沼田市では沼田ブランド認定品となつているハナビラダケ、リンゴなどの季節折々の果物や野菜、天狗印枝豆についての紹介があり、下田市は金目鯛と柑橘類、そしてオリブ事業への取り組みや下田ブランドの商品に関する発表をし、六次産業をどう具体化していくかという課題と特産市等をきつかけとした双方の産業交流に関して話し合われました。

2日目は、ボランティアガイドの方と下田市議会議員が同行し、旧町内の歴史に触れました。

そして、姉妹都市51年目を迎え更なる交流を深めました。



行ってきました！ フラワー都市交流 in 山形県長井市

議長 竹内清二

6月24日から3日間の行程にて、年に一度開催されるフラワー都市交流連絡協議会の総会等に参加するため、山形県長井市へ土屋副市長を団長とする27名の市民団の皆様と行ってまいりました。

フラワー都市連絡協議会とは、花をまちづくりのシンボルにし、活力と安らぎのある住みよいまちづくりを目指す全国9都市の花のまちで構成され、魅力ある地域づくりを図ることを目的とし、交流訪問事業や各都市間の花苗等の交換、交流物産展、東日本大震災被災地へのシンボル花の提供などを行っています。また、年に一度、加盟する各都市の持ち回りで総会や交流事業を開催し、下田市からも毎年多くの市民の皆様に参加いただいております。



「紹介」では各都市、まちの魅力や物産、そして、花を使ったまちづくり事業など、工夫を凝らしたプレゼンテーションが行われ、下田市からもわがまちが全国に誇る歴史や海、食などの観光資源はもちろん、

スイセンやあじさい、また花協議会様はじめ多くの市民のご協力で行っている花いっぱい運動の事例紹介など下田の魅力が紹介されました。その後、開催されたフラワーパーティーでも、懇親会の各テーブルで他の8つの都市の市民との交流が盛んに行われ、大いに盛り上がりました。

この大会開催にあたりまして長きにわたり準備され、当日もステージイベントなど多大な歓待を賜りました長井市の皆様に心より感謝申し上げます。

次年度2018年は、わが下田市が開催都市となり、下田公園に日本一の紫陽花が咲き誇る6月にこの大会が行われます。この地を訪れる8つの市民団の皆様「下田ってすごいね」と喜んでいただけるよう議会からも成功を促してまいります。大会期間中のおもてなしはもとより、



花いっぱいでお出迎えするにあたっては、今年からの準備が必要不可欠となります。ぜひ

ひ多くの市民の皆様のご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

伊豆縦貫自動車道合同促進大会

平成29年度 伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会、伊豆縦貫自動車道建設推進期成同盟会、東駿河湾環状道路整備促進期成同盟会の合同促進大会について

平成29年7月28日(金)午後3時より、東京都千代田区平河町にある都道府県会館1階一〇一大会議室において開催されました。

国土交通省より、道路局長、中部地方整備局道路部長、同盟会顧問でもある地元選出の国會議員の方々、同盟会会長である川勝平太静岡岡県知事、伊豆地域選出の県議會議員、河津一 下田間の建設促進期成同盟会会長福井祐輔下田市長、沼津市長、三島市長、熱海市



長、伊豆市長、函南町長、賀茂郡内町長、市町議長、民間団体から田中豊下田商工會議所会頭をはじめ、伊豆地域の商工會議所会頭、各町商工会の会長、そして今年には下田市議會から竹内清二議長、伊藤英雄副議長、橋本智洋議員、滝内久生議員、進士濱美議員、進士為雄議員、小泉孝敬議員、土屋忍議員、増田清議員、大川敏雄議員の10名が出席しました。



式会社ヴィレッジインク代表 橋村和徳氏より「伊豆縦貫道全線開通に期待する人材流動の活性化」について発表がありました。

最後に要望の決議がなされ、終了後、国土交通省と財務省に出席者が要望活動を行いました。

伊豆縦貫自動車道は、「経済の好環境」、「災害時の救援活動の支援」、「救急搬送等の医療活動の支援」など、地域社会の生産性を向上させ、様々なストック効果を生み出す社会基盤である。今年3月には、天城湯ヶ島から河津間の天城峠区間の3ルート帯案が公表さ

れ、4月には、河津下田間において初となるトンネル工事の今年度着手が公表され、全線開通に向けた期待の高まりとともに、伊豆地域は活気づいた様相を呈しているとし、要望事項は次のとおりです。

- 一、平成29年度事業実施のさらなる加速化を図ること。
- 一、天城峠を越える天城湯ヶ島く河津間について早期事業化を図ること。
- 一、事業中區間である天城北道路、河津下田道路及び東駿河湾環状道路の予算を拡大し、事業促進と、早期開通を図ると共に、伊豆縦貫自動車道全線の早期完成を図ること。



- 一、伊豆縦貫自動車道を基軸とした道路ネットワーク構築に必要な道路整備を行うため、社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金の所要額を確保するとともに、「道路整備事業に係る国の財政上の特例処置に関する法律」に定める国の負担又は補助の割合を平成30年以降も継続・拡充すること。
- 一、大規模な災害に対応するため、地方整備局の機能充実を図り、広域的かつ機動的な危機管理体制を確保すること。

産業厚生委員会協議会

7月4日、下田市役所第1委員会室において、地域おこし協力隊員及び地域おこし企業人と産業厚生委員会委員とのディスカッションと題して、産業厚生委員会協議会を開催しました。

これは市当局だけでなく、議会としてもコミュニケーションを図り、情報を共有しようという目的です。それにより新たな提案や試みを議会から発信しようというのが狙いです。

出席していただいた地域おこし協力隊の方々は、田中剛さん（中心市街地活性化部門・下田商工会議所内）向原一平さん（観光振興部門・下



田市観光協会）池田菜都美さん（美しい里山づくり部門・伊豆森林組合）前田聖洋さん

（美しい里山づくり部門・伊豆森林組合）地域おこし企業人の長谷川光さん（下田シティプロモーションアドバイザー・下田市役所観光交流課）の5名の皆様です。

田中さんは、現在、街づくりのイベントやローカルケーブルテレビの番組制作に携わっています。向原さんはウェブ上で「下田新聞」を立ち上げ、「下田サイファー」というラップ調による下田のいいところを表現して情報発信をしている予定です。池田さんは海と山の関係に着目して経験を積んでいます。そして、移住者には何が不便で何が必要かを探求し、今後の移住者の方々の参考になればということの内容をまとめています。前田さんは山の獣害対策をテーマにして里山づくりに励み、

その中で培った竹林の活用、竹ぬかの活用を考えています。長谷川さんは、観光全般そし

6月定例会一般質問

鈴木 敬（かいかく）

（1）下田市立青少年海の家の活用について

（2）稲生沢川河口における水門建設について

（2）伊豆縦貫自動車道の建設と下田市の対応について

進士為雄（明政会）

（1）森林資源の有効活用について

（2）六次産業について

（3）海水浴場について

小泉孝敬（自公クラブ）

（1）下田市内4中学校再編整備について

（2）土砂災害対策について

（1）太陽光発電など再生可能エネルギー開発とその指導について

橋本智洋（清新会）

（1）観光振興について

（2）街づくりについて

土屋 忍（自公クラブ）

（1）公共施設の見直しについて

（3）防災対策とまちづくりについて

（2）市職員の過労死、長時間労働をただす働き方改革について



人事案件

監査委員の選任

前監査委員の任期満了に伴い、議員のうちから選任される委員に、増田清氏（大賀茂）を選任することについて同意いたしました。

6月定例会審議結果

番号	6月定例会議案件名	審議結果
報第5号	平成28年度下田市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	承認
報第6号	平成28年度下田市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	承認
報第7号	平成28年度下田市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	承認
議第34号	監査委員の選任について	同意
議第35号	市有財産（建物）の譲与について	原案可決
議第36号	下田市半島振興対策実施地域における固定資産税の特例に関する条例の制定について	原案可決
議第37号	下田市過疎地域自立促進対策に伴う固定資産税の特例に関する条例の制定について	原案可決
議第38号	下田市総合福祉会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第39号	下田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第41号	平成28年度下田市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議第42号	平成29年度下田市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議第43号	平成29年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
発議第5号	海洋ごみの処理推進を求める意見書の提出について	原案可決
	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	
	常任委員会の閉会中の継続調査について	

《賛否の分かれた議案》

（○：賛成 ×：反対 -：欠席）

番号	6月定例会議案件名	進士為雄	進士濱美	橋本智洋	滝内久生	竹内清二	小泉孝敬	大川敏雄	鈴木英敬	伊藤英雄	土屋忍	増田清	森温繁	沢登英信	審議結果
議第40号	下田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決

※議長（竹内清二）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

編集委員会

◇委員長 橋本智洋
 ◇副委員長 鈴木敬
 ◇委員 増田清
 進士為雄
 伊藤英雄

平成29年4月1日に下田市は過疎地域に指定されてしまいました。少子高齢化・人口減少が止まるところを知りません。かなりシロツクな事態です。6月議会での重要議案は半島振興法と過疎法に伴う条例制定で、それぞれの固定資産税減免措置を活用して下田市の経済振興と雇用創出を目指します。下田の現状にメゲることなく、下田のまちが少しでも賑やかになるように頑張っていきたい。

(K)

編集後記

**議会を傍聴
しましろう**

市議会へのご意見ご要望
をお寄せ下さい